

伊勢原市

No.130・160 遺跡

(伊勢原市No.130・160 遺跡)

調査期間 20090511～継続中

所在地 伊勢原市東富岡

時代
古代
中世
近世
近代



作成日:20090708

概要

本遺跡は、中日本高速道路株式会社による第二東名高速道路建設に伴う事前調査として、2009年5月から発掘調査を実施しています。

本遺跡は、伊勢原市北東部「市民の森ふじやま公園」の所在する富岡丘陵の東側に広がる遺物散布地として知られており、その丘陵の東裾を対象として調査を行っています。

現在調査をしている調査範囲のほぼ全域で、近世から近代の耕作跡が見つかっています。江戸時代から、つい最近まで畑地として利用されていたことが確認されました。

調査範囲は中世以前は丘陵の南北に通る谷のような地形であったと考えられます。その埋没過程の中世のある段階で、東西方向に人が繰り返し通ったような跡が硬化面として検出されました。

また、古代末頃に作られたと思われる円形土坑が検出されています。



▲ 遺跡遠景



▲ 耕作跡(近世)



▲ 硬化面(中世)